

櫻守の会

2026年3月号

2026年3月1日(通巻322号)
発行：櫻守の会代表 清水 厚真
〒665-0805 宝塚市雲雀丘1-10-38
会員数 94名(2月25日現在)
HP：<https://www.sakuramori.net/>

桜の生き残り戦略

ここ数年、武庫山の森のヤマザクラの花付きが少なく迫力に欠けるような気がしている。これまでの良い年のイメージが蓄積され目が贅沢になってきたとも言えるが、写真を見比べると明らかであった。育苗地のヤマザクラは大木ながら枝が手に届くところまで伸び、枝が見えないくらい花が密集して豪華ささえあったが、ここ数年で手に届く枝は枯れ落ち満開時のボリュームも衰えている。

桜の特徴を教わると極端な陽樹で、日照を好む木というより日照が悪いと枯れてしまうと知った。実際入口広場にあるヤマザクラは大きな木であったにもかかわらずナナミノキとの成長競争に負け枯れようとしている。他の元気なヤマザクラも周囲の木と枝が触れ合っている木が多く、場合によっては他の木に圧倒されているヤマザクラもある。教科書的な話になるが西日本と関東までの太平洋側の潜在植生(今の気候環境で自然に任せるとどの様な植物が主になるか)は常緑広葉樹で、奈良の春日山原始林のような森になる。初めて行く前は豊かな森をイメージしていたが実際は全体的に薄暗く里山のような解放感もなく、春のお花見ができるような場所ではなかった。

話が想像の世界に飛ぶが、関西地方は桜にとっては生きやすい環境ではなかった。おそらく太古の桜は大木が生えにくい尾根や崖崩れや大木が倒れた後のギャップを利用して生き延びてきたと思われる。そこで昔の桜は日本人という動物を利用する戦略を採った。日本人は生活を営むために森の木を切って明るくしてくれる。春に咲く花を喜んで自分を守って他の木を切って日当たりを良くしてくれる。更に品種改良されたソメイヨシノという仲間は日本人に沢山植えられ日本中に勢力を広めることができ戦略は大成功した。人として桜に利用されたなどと思いたくないかも知れないが結果として桜の木の数は増えた。

話を現実の世界に戻し、武庫山のヤマザクラは先の大戦終了前後にハゲ山の武庫山に生まれた木が多いと考えられている。これまで燃料などにされることなく人に守られながら大きくなってこられたが、燃料革命ののち人が利用するために木を切らなくなり成長の早い周囲の木に押されている状況になっている。櫻守の会として名前に櫻の一字を使わせてもらっているからには、桜の生き残り戦略に利用されながら桜を守る活動にこれかも注力してみてはいかがだろうか。

横山 伸寛

育苗地ヤマザクラの比較



2017年



2021年



2025年

***** 目次 *****

- P1 序文：桜の生き残り戦略
- P2 2026年2月度活動実績表
- P3～6 活動報告：桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、里山公開講座
- P6 お知らせ・案内：運営委員会報告
- P6～8 櫻守ひろば：活動地の山の幸（リョウブ（令法）飯）、「活動地の園路紹介」の連載開始
- P8 活動予定表：3月度・4月度の活動予定

< 2026年2月度 活動実績表 >

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
1月23日 (金)	青葉台 19名	晴れ	(小林堰堤上登山路～合流点周辺、バイパス) 枯れ木、大傾斜木の伐採	6
			(青葉台口～小林堰堤) 枯れ木伐採、倒木処理、常緑樹の間伐等	7
			(行者山登山路小林堰堤～合流点～北逆瀬台口) 階段の追設、注意付道標追設	3
			(行者山登山路北逆瀬台口～合流点) 園路脇の笹刈	3
1月25日 (日)	桜の園・亦楽山荘 10名	雪	(廃線敷入口付近) アラクシ等常緑樹間伐	10
1月31日 (土)	ぶらざこむ1 6名	—	2月号会報印刷・発送	6
			1月度運営委員会	
2月1日 (日)	武庫山の森 22名	晴れ	(入口付近) ヤマザクラと競合する木の伐採	5
			(入口広場) キショウブの掘り起こし	2
			(東側道沿い) ヤマザクラの管理調査	5
			(北谷堰堤付近) 竹の皆伐	8
			(園路全体) 落葉かき	2
2月5日 (木)	桜の園・亦楽山荘 19名	晴れ	(遠見の道) 枯松等枯木倒木等の処理、常緑樹の間伐、シダ刈り	6
			(赤松道ビューポイント～展望所) 枯サクラ・松・檜の伐採、常緑樹の間伐	7
			(桜坂、東屋手前の水平道) 穴掘り10箇所、イロハモミジ移植5株	4
			(廃線敷入口～親水広場) 常緑樹の間伐	2
2月7日 (土)	男女共同参画C 43名(11名)	曇り	第1部 「サクラの移植とその後の管理技術について」 第2部 「櫻守の会」のヤマザクラの育成	43
2月9日 (月)	ゆずり葉の森 7名	晴れ	(活動地入口、白瀬川広場) 内芯部腐食空洞化木、病虫害に侵食した木の伐採	7
2月13日 (金)	桜の園・亦楽山荘 21名	晴れ	(遠見の道) 枯松等枯木倒木等の処理、常緑樹の間伐、シダ刈り	8
			(赤松展望所～つつじが丘展望所) 桜周り、園路の常緑樹間伐	5
			(桜坂、東屋手前の水平道) イロハモミジ移植7株	6
			(親水広場) 常緑樹の間伐	2
2月17日 (火)	山手台 21名	晴れ	(噴水広場南側斜面) 枯れ木・倒木の整理、常緑樹間伐、シダ・ササ刈り	7
			(北斜面; 中川大橋手前) 常緑樹間伐	7
			(北斜面; 平地) 植樹(ヤマザクラ5本、コバノミツバツツジ6本)、クズ・ササの刈払い	7
2月21日 (土)	武庫山の森 21名	晴れ	(入口広場、育苗地広場) ヤマザクラと競合する木の伐採	6
			(入口広場) キショウブの根処理	2
			(武庫山ルート、大桜2号と4号周辺) ヤマザクラの管理調査	4
			(北谷堰堤付近) 竹の皆伐	9
延べ参加人数				189

桜の園 (亦楽山荘)

1/25 (日) 小雪舞う中 10名集合しましたが、午後の天気予報も思わしくないため、作業内容を大幅に変更、かつ作業時間も午前終了に短縮しました。全員で、廃線敷入口付近の川側斜面に繁茂するアラカシ等常緑樹間伐を行いました。



親水広場の雪景色



廃線敷入口間伐1



廃線敷入口間伐2

2/5 (木) 寒波の合間の暖かい日差しの中での作業となりました。3班に分かれ、1班は、赤松植樹地手前で園路脇の枯れたカスミザクラ (直径 20cm2 本) 枯松 (直径 15cm1 本) をチェーンソーで伐採しました。また展望所側へ移動し、展望を阻害している檜 (直径 40cm1 本) 松 (直径 20cm1 本)、枯松 (直径 20cm2 本) をチェーンソーで伐採しました。2班は、遠見の道の赤松植樹地の下方で、園路周辺の中小径の枯木の伐採、倒木や落下枝の処理、常緑樹の間伐、ササの刈り取りを行いました。3班、は桜坂東屋手前の園路谷側急斜面に移植用穴掘り (10 箇所) およびイロハモミジ (5 株) を東屋付近から移植しました。



遠見の道園路周辺の整備



赤松道檜(直径 40cm)伐採



東屋手前斜面イロハモミジ植樹

2/13 (金) 3月中旬を思わず暖かい一日でした。3班に分かれ、1班は遠見の道中段で枯木の伐採、倒木・落下枝の処理、常緑樹間伐、シダ刈りを行いました。眺望と多様性改善を図りました。2班は赤松展望所～つつじが丘展望所間の、桜周り・園路に繁茂する常緑樹間伐を行いました。3班は桜坂東屋手前の園路谷側急斜面にイロハモミジ(7株)を東屋付近から移植しました。
(浅田 記)



遠見の道枯木等処理、間伐



赤松展望所上常緑樹間伐



東屋手前斜面イロハモミジ植樹

青葉台

1/23 (金) 2026年最初の青葉台での活動で、山の神様に安全祈願して作業を開始しました。① 行者山登山路(小林堰堤～合流点～バイパス)と、② 行者山登山路(青葉台口～小林堰堤)で枯れ木の伐採、倒木や落下枝の処理、密生常緑樹の間伐を、③ 行者山登山路(合流点～北逆瀬台口)で笹刈、並びに④ 行者山登山路(北逆瀬台口～合流点、小林堰堤～合流点)で ステップの新設と合流点に”急傾斜坂での注意喚起”の道標を新設しました。
(加賀野 記)



登山路バイパス部・折り重なり見苦しい枯れ木を整理



青葉台入口部上斜面の藪状態を除伐して改善



登山路・北逆瀬台口～合流点間に階段新設

ゆずり葉の森

2/9 (月) 朝方の降雪で屋外は薄っすらと雪化粧で一瞬作業中止が頭に浮かびました。気を取り直して傾斜した路面の軽く凍結した箇所を避けながら上って活動地にたどり着き、通常の約半数の参加者に聞くと阪急逆瀬川駅からのバスは難航したようで本数が少なくまた、時間も長く掛かっていたようでした。約30分遅く作業開始し、集合場所の白瀬川広場一か所で、① 幹芯が腐食し空洞になった中径常緑樹3本と② 病虫害に侵食された幹表面に多数の穴が開いたアラカシ1本を伐採処理しました。作業は午前中とし午後1時過ぎ終礼としました。
(加賀野 記)



薄っすら雪化粧した白瀬川広場から西山堰堤路を望む



用水路内で伐採木の玉切り



比較的新しい会員にチェーンソー操作の体験指導実施

山手台

2/17 (火) 朝方は寒かったものの作業中はやや汗ばむほどの好天気で、作業もはかどりました。噴水広場南側の斜面では、枯れ木や倒木の整理、シダやササの刈り取り、常緑樹の間伐を行い地面が見えるようになりました。これは、不法投棄防止対策でもあります。北斜面の上部では、林を明るくするため先月に引き続き常緑樹の間伐を行いました。北斜面の平地では、先月に掘っておいた植穴にかなり大きな実生のヤマザクラ5本とまだ小さいコバノミツバツツジの挿し木苗6本を植樹し、苗木の周囲の環境をよくするため植樹地山側のササ・イバラ・クズ等の刈り取りを行いました。
(岡 記)



噴水広場南側斜面；ササ刈り



中川大橋手前の斜面；常緑樹の間伐



北斜面の平地；ヤマザクラの植樹

武庫山の森

2/1 (日) 絶好の冬晴れの中で作業をすることができました。前回入口付近で桜の調査をした際に印を付けた桜と競合する木の伐採を開始しました。大鋸、チェーンソーも使用して日当たりを邪魔する木や将来競合する木も伐採しました。多くの木を切る必要があり時間がかかるので少しずつ進めていきます。入口広場の外来キショウブの掘り起こしをしました。ヤマザクラの調査は東側道沿いを調査して48本のヤマザクラを確認しました。道沿いで競合する木も道沿いに傾いており桜の生育環境を改善する伐採が難しいです。今後どのような対策が打てるか検討が必要です。北谷堰堤付近の竹の皆伐をしました。約10年前に一度皆伐しましたがまた増えてきたので伐採を始めましたが次回以降にも継続します。この冬は園路上の落葉が多く園路を見間違える可能性があるため園路全体の落葉かきを行いました。

2/21 (土) 日差しに春を感じながら久しぶりに作業中に汗をかきました。入口広場のナナミノキを伐採しました。ヤマザクラや倉庫に当たる可能性がありましたが狙い通り倒せました。育苗地広場のナナミノキは隣のハゼノキの枝を折りながらもチルホールで引き倒すことができました。どちらも大木で玉切りにはチェーンソーを使い、倒す時間の何倍も使って枝葉の処理をしました。前回掘り起こしたキショウブの根を取り出し枯らす処理をしました。ヤマザクラの調査は武庫山ルート沿い、大桜2号と4号周辺で行い60本のヤマザクラを確認しました。山中のヤマザクラは他の木に圧倒されている木もあり救出する必要があります。北谷堰堤付近の竹の皆伐も継続して作業をしました。次は竹の子が出るころに仕上げの皆伐をする予定です。

(横山 記)



伐採したナナミノキ



キショウブの根を取る作業



竹の枝葉処理

里山公開講座

2/7 (土) 櫻守の会主催の公開講座を、宝塚市立男女共同参画センターで開催しました。

第1部では(株)庭樹園 代表取締役 阪上広樹氏より「サクラの移植とその後の管理技術」のテーマで講演していただきました。サクラに関して今回3回目の公開講座で、経験豊富な樹木匠の観点からの沢山の事例紹介があり、より丁寧な説明をしていただきました。当会



講演される阪上広樹氏

では、ヤマザクラの育苗や移植を継続して行っており、実践的な技術を知ること、活動に活かせる内容だったと好評でした。

第 2 部では当会代表の清水厚真より「櫻守の会のヤマザクラの育成」について紹介を行いました。
(清水 記)

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告 (2026 年 1 月度)

代表 清水 厚真

2026 年 1 月 31 日 (土) 9:45~11:25 ふらざこむ 1

1. 活動地トピックス

> 武庫山の森

- ・塩谷ルート中学下のビューポイントベンチ、宝松苑ルートの大桜 1 号ベンチ付近で、タバコの吸い殻、空き缶、ペットボトルのポイ捨てがあった。住民から宝塚土木事務所へ、山火事等の懸念の苦情あり。土木事務所が、注意看板を 3 月末までの期間限定で設置するとの連絡あり、了承した。
- ・5/2(土)第 7 回宝塚温泉まつりに参加を予定する。内容は、例年通りであり多数の支援参加をお願いします。

2. 会報「櫻守ひろば」の新規の連載企画

「活動地の園路紹介 (仮称)」に決定した。本号の記事を参照のうえ、会員の皆さんの多数の投稿をお願いします。

その他

- ・今後の研修等の計画について

< 新人技能研修会 > 5 月~6 月頃武庫山の森の活動日に実施する予定。2025 年 3 月以降の入会者で、対象者は 10 名程度となる。

< 刈り払い機、安全講習会 > 新入会員対象に、個別に指定し、草が伸びる春以降に実施する。

- ・大鋸 (造林 370) の活動地配備数不足及び鞆の不良についての申告について

大鋸のゆずり葉の森での配備数不足は、在庫品から補充した。また、鞆の不良が多数発見されたため、代替品を選定し購入することとした。

< 櫻守ひろば >

活動地の山の幸 リョウブ (令法) 飯

瀧本 浩一

春になったらリョウブ飯を楽しんでみませんか?

リョウブ (令法) は、古くから「救荒 (きゅうこう) 植物」として飢饉の際の食料に指定されたほど馴染みのある植物で、名前の由来にもなっています。独特の香りと甘みがあり、山菜好きの間では隠れた人気があるそうです。リョウブの若葉や樹皮はニホンジカが好んで食べる植物 (嗜好性の高い植物) ですが、櫻守の会の活動地では、今のところシカの出没は少なく、人間との争奪戦はありません。

リョウブは「リョウブ飯」として食べるのが最も一般的で、美味しいと言われています。新芽が芽吹く時期 (4 月~5 月頃)、展開したばかりの若葉を摘んでできます。新鮮なうちに沸騰したお湯に塩を入れ、サッと茹でた



リョウブの新芽

あと（1分程度）、冷水にさらして、アクを抜きます（10分～20分程度）。ザルでよく水を切ってから細かく刻み、塩を振って炊きたてのご飯に混ぜ込みます。若葉の爽やかな香りと、少しモチツとした食感が楽しめます。

生のまま衣をつけて「天ぷら」にするのも良いでしょう。高温で揚げることで独特の香りが引き立ち、アクも気にならなくなります。茹でたものを胡桃（くるみ）和えや、マヨネーズ和えのような「和え物」にしても美味しいそうです。

2025年1月号から連載を始めた「活動地の山の幸」ですが、毎号の掲載は最終回とします。投稿いただいた方、楽しみに読んでいただいた方ありがとうございました。今後も珍味に出会った際は櫻守ひろばに投稿をお願いします。新連載「活動地の園路紹介」も楽しみにして下さい。



リョウブ飯

「活動地の園路紹介」の連載開始に当たり

運営委員会

「櫻守ひろば」の次の連載記事を検討した結果、「活動地の園路紹介」に決定しました。

狙いは、活動地を作業やハイキングで訪問していて、見慣れた風景（眺め）でも植物や地形など、意外な魅力を発見することがあります。これらを「櫻守ひろば」の連載記事とし、活動地の魅力を再発見する企画としました。3月号よりスタートし、2年程度の期間の連載を目指すこととします。また、多くの会員が投稿できるよう、身近で簡潔な記事となるようにしていきたいと思っておりますので、皆さん振るって投稿をお願いします。

以下のようなテーマを候補としていますが、拘りなく自由なテーマで、投稿をお待ちしております。

>春（3月～5月）

- ・意外な場所で…廃線敷、武庫川沿の崖に張出て咲く、ヤマザクラ
武庫山宝松苑ルート「寝さくら」命名がステキ
- ・各地のコバミツ…コバミツ回廊、ゆずり葉ピーク、武庫山塩谷ルート、桜の園林間広場～四辻
- ・他、園路の段差でひっそりと咲く草花 等々

>梅雨・夏（6月～8月）

- ・稀少植物は日影が好き…半日陰で群生している、日照、気温など環境が変われば、直ちに減少する。
イチヤクソウ等々 ゆずり葉の森、桜の園の…場所が特定できないよう、慎重に掲載をする。
- ・桜の園にはヤブツバキが多いが、日陰効果もあるのでは？

>大雨、台風シーズン（9月～10月）

- ・地勢、地質の勉強（概要）…六甲山系、長尾連山
- ・災害の爪痕…廃線敷の展望広場、2014年ヤマザクラ被害…10年史、20年史を紐解く
白瀬川源流付近
- ・山手台の北斜面は造成地…下段はクズなどつる性植物、上段はヤマザクラが密生、何故か？

>秋・紅葉シーズン（11月～12月）

- ・桜の園の紅葉はなぜ綺麗か…東屋周辺、滝見の道 VP など、魅力的
- ・果実の紹介を

>冬（12月～2月）

- ・初日の出スポット 会員自慢の場所がありそう
- ・獣害…イノシシのイタズラ、園路を掘り起こす、ヌタバなど、鹿の食害は？
- ・春に備える

活動地の順で掲載してどうか：概要→桜の園→青葉台→ゆずり葉の森→山手台→武庫山の森で概ね、2年程度の期間としたい。表題や植物に拘らず、自由な発想で投稿してください。また、季節などタイムリーな記事を優先します、投稿により順序が入れ替わっても許容したいと思います。「櫻守ひろば」です、多くの皆さんからの投稿をお待ちしております。

活動地の園路紹介（1） 廃線敷のヤマザクラについて

清水 厚真

廃線敷のリンボク広場の前に、石垣から武庫川に大きく張り出したヤマザクラを見かけます。「活動地の園路紹介」の初回として、写真の石垣に生えているヤマザクラについて筆を進めます。石垣の隙間から芽生え、成長して成木になったと想像しますが、元の種はどこから来たのでしょうか。

解説の樹名板には、以下の記載があります。

石垣のヤマザクラ (一部抜粋)

このヤマザクラは、珍しいことに石垣のすきまから生えている。どうやって根付いたのか不思議だが、アリが桜の実を石垣の巣穴に運ぶという説もある。この石垣からは4本の桜が生えているので、それほど珍しいことではないようだ。このヤマザクラは花付きもよく、花や葉を間近に観察できる。と解説があります。

石垣など隙間で成長した植物の由来は、所説あるようですが、小動物や昆虫が餌として食べて、糞と一緒に隙間に運ばれ萌芽した。若しくは、餌として隙間に運び込まれたが、忘れられてしまった。リスなどの小動物にみられる行動で、こちらの方が本当らしく聞こえます。また、雨水に流されて来た種からの実生や、付近の根系からの根萌芽が成長したもの、等々が考えられます。様々に想像を巡らせるのも、一興です。

いずれにしろ、河川の崖であり開けた空間ですから、ある程度成長すれば日照を独り占めすることができ、日照を好むサクラですから水さえあればスクスクと成長するのでしょうか。見事に成長する姿を見て、「お前は偉いなー」とつくづく思っています。この付近には、他にもカスミザクラやアカメガシワが、石垣の隙間から生えています。たまには、ゆっくりと観察しながら、植物の環境適合性のすばらしさを実感してください。



武庫川に張出したリンボク広場前のヤマザクラ
満開の春が待ち遠しい

< 活動予定表 >

月別行事予定表

3月		場所等	4月		場所等
3月1日	日	武庫山の森	4月5日	日	武庫山の森
3月4日	水	桜の園 (亦楽山荘)	4月8日	水	ゆずり葉の森
3月10日	火	ゆずり葉の森	4月10日	金	桜の園 (亦楽山荘)
3月13日	金	桜の園 (亦楽山荘)	4月12日	日	自然観察会
3月17日	火	山手台	4月14日	火	山手台
3月21日	土	武庫山の森	4月18日	土	武庫山の森
3月26日	木	青葉台	4月22日	水	桜の園 (亦楽山荘)
3月28日	土	会報印刷運営委員会	4月25日	土	会報印刷運営委員会
3月29日	日	桜の園 (亦楽山荘)	4月26日	日	桜の園 (亦楽山荘)
			4月29日	水	青葉台

集合時間：桜の園 (亦楽山荘) 親水広場 9時50分、他の4活動地は9時30分。天 候：当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60% 以上の時は中止します。

【編集後記】会報3月号をお届けします。オリンピックが終わってしまい、早朝の楽しみが無くなりました、日本人の活躍は素直に嬉しいです。3月6日開幕のパラリンピックでも、感動を届けてくれるでしょう。今月の会報から「活動地の園路紹介」を連載することにしました。新入会員の皆さんに、できるだけ活動地の魅力を知ってもらうのも、狙いの一つです。先輩の皆さんには、おススメの風景や植物の紹介記事をお待ちしています。(清水 記)